

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和2年6月9日

佐賀県知事 山口 祥義 殿

提出者

住 所 佐賀県佐賀市兵庫町大字西湊1960-4

氏 名 佐賀東部水道企業団

企業長 松尾 安朋

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0952-30-6151

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

| | |
|--------------------------|--------------------------------------|
| 事業場の名称 | 佐賀東部水道企業団 北茂安浄水場 |
| 事業場の所在地 | 佐賀県三養基郡みやき町大字江口3986-1 |
| 計画期間 | 令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日 |
| 当該事業場において現に行っている事業に関する事項 | |
| ① 事業の種類 | 36 水道業 |
| ② 事業の規模 | 令和元年度年間送水流量 19,205,164m ³ |
| ③ 従業員数 | 職員13名及び管理会社社員2名在駐 |
| ④ 産業廃棄物の一連の処理の工程 | 別紙のとおり |

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

浄水課長 (廃棄物処理総括責任者)

↓

浄水係長 (廃棄物管理責任者)

↓

浄水係 (廃棄物責任者)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

| | | | |
|-----|--|--------|--------|
| ①現状 | 【前年度 (令和 元 年度) 実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙のとおり | 別紙のとおり |
| | 排 出 量 | 〃 t | 〃 t |
| | (これまでに実施した取組) 濃縮槽での汚泥濃縮を強化し、含水率の低下に努めている。 | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙のとおり | 別紙のとおり |
| | 排 出 量 | 〃 t | 〃 t |
| | (今後実施する予定の取組) 引き続き濃縮槽での濃縮の強化に努める。 | | |

産業廃棄物の分別に関する事項

| | |
|-----|---|
| ①現状 | (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥 (一般薬品)、廃プラスチック類及びガラスくずは種類ごとに保管場所を決め分別を行っている。 |
| ②計画 | (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引き続き種類ごとの分別の徹底に努める。 |

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

| | | | |
|-----|--|--------|--------|
| ①現状 | 【前年度（令和 元 年度）実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙のとおり | 別紙のとおり |
| | 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 | 〃 t | 〃 t |
| | （これまでに実施した取組） 乾燥汚泥を育苗土の原料にする加工業者と譲渡契約を締結し、有償譲渡を行っている。 | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙のとおり | 別紙のとおり |
| | 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 | 〃 t | 〃 t |
| | （今後実施する予定の取組） 行政との連携、業界のネットワークを活用し、引き続き乾燥汚泥の有償譲渡を行う。 | | |

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

| | | | |
|--|----------------------|--------|--------|
| ①現状 | 【前年度（令和 元 年度）実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙のとおり | 別紙のとおり |
| | 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 | 〃 t | 〃 t |
| | 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 | 〃 t | 〃 t |
| （これまでに実施した取組） 天日床での乾燥時間を長く取ることで、含水率の低下に努めている。 | | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙のとおり | 別紙のとおり |
| | 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 | 〃 t | 〃 t |
| | 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 | 〃 t | 〃 t |
| （今後実施する予定の取組） 引き続き汚泥の乾燥時間を長く取り、含水率の低下に努める。 | | | |

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

| | | | |
|-----|---------------------------|--------|--------|
| ①現状 | 【前年度（令和元年度）実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙のとおり | 別紙のとおり |
| | 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量 | 〃 t | 〃 t |
| | (これまでに実施した取組) 特になし | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙のとおり | 別紙のとおり |
| | 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 | 〃 t | 〃 t |
| | (今後実施する予定の取組) 特になし | | |

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

| | | | |
|-----|---|--------|--------|
| ①現状 | 【前年度（令和元年度）実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙のとおり | 別紙のとおり |
| | 全処理委託量 | 〃 t | 〃 t |
| | 優良認定処理業者への処理委託量 | 〃 t | 〃 t |
| | 再生利用業者への処理委託量 | 〃 t | 〃 t |
| | 認定熱回収業者への処理委託量 | 〃 t | 〃 t |
| | 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | 〃 t | 〃 t |
| | (これまでに実施した取組) 汚泥の処理委託は、保管所に乾燥汚泥が堆積し、天日床から保管所への汚泥移設ができない場合に行っている。保管所に移設した乾燥汚泥は、契約業者に有償譲渡しているため、乾燥汚泥が堆積しないよう定期的に契約業者に連絡を取り、計画的な乾燥汚泥の有償譲渡に努めている。また、汚泥（一般薬品）、廃プラスチック類及びガラスくずについては、優良認定処理業者に依頼を行っている。 | | |

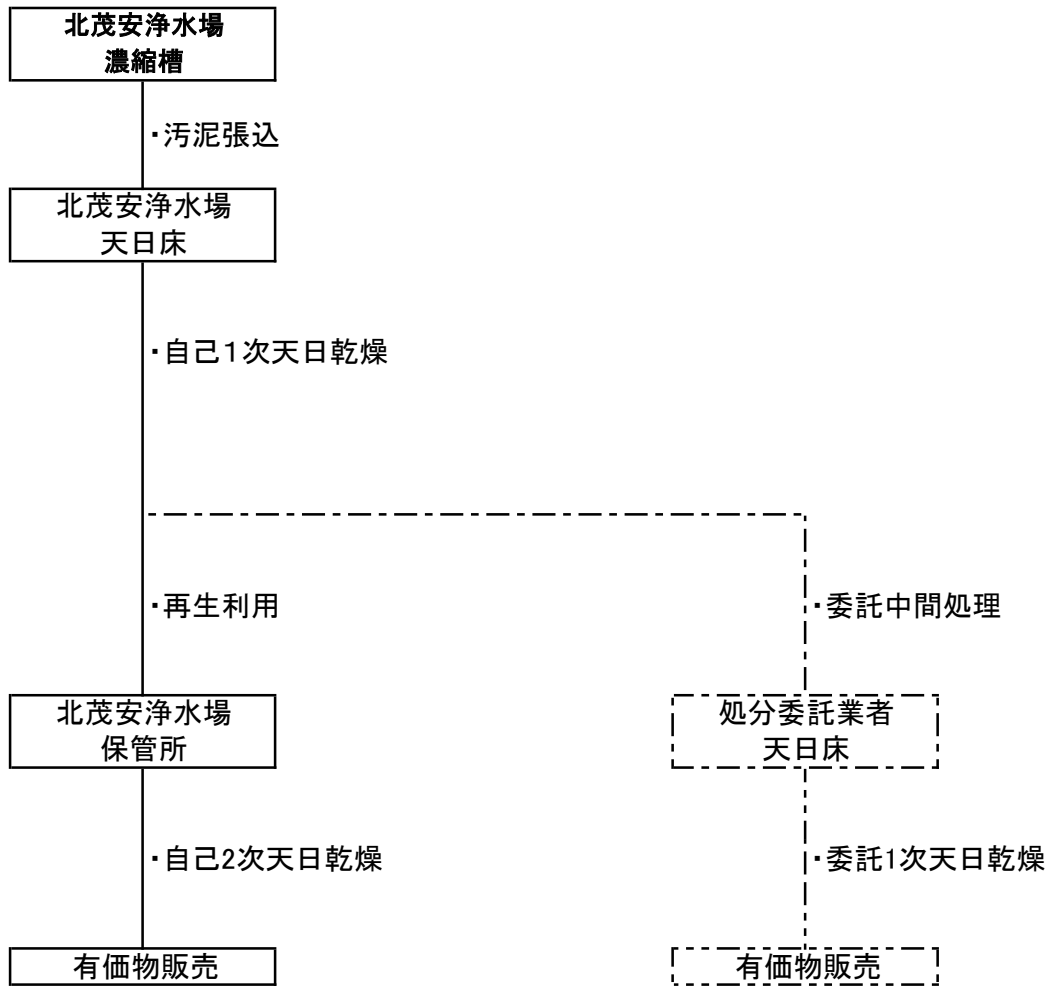
| | | | |
|---|-----------------------------------|--------|--------|
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙のとおり | 別紙のとおり |
| | 全処理委託量 | 〃 t | 〃 t |
| | 優良認定処理業者への 処理委託量 | 〃 t | 〃 t |
| | 再生利用業者への 処理委託量 | 〃 t | 〃 t |
| | 認定熱回収業者への 処理委託量 | 〃 t | 〃 t |
| | 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量 | 〃 t | 〃 t |
| | (今後実施する予定の取組) | | |
| 引き続き乾燥汚泥の計画的な有償譲渡を行い、処理委託量の減量に努める。また、汚泥（一般薬品）、廃プラスチック類及びガラスくずについては、今後も優良認定処理業者に依頼を行い環境配慮への取り組みを行っていく。 | | | |
| ※事務処理欄 | | | |

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の一連の処理工程

【汚泥】



【廃プラスチック類】

【廃油】

【ガラスくず】

【金属くず】

